



学校だより 9月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

子どもたちの成長と輝く姿 ～この夏感じたこと～

教務主任・1年担任 松尾 未央

今年の夏休みは、梅雨明けと同時に始まり、毎日厳しい暑さが続きました。そしてこれまでに経験のない、16日間という短い期間でした。地域のお祭りが無い、夏季水泳教室が無い、夏休み明けの研究作品展が無いということもこれまでにないものでした。暑さの中で感染症対策をしながら過ごす夏休みだったかと思いますが、それぞれのご家庭で子どもたちのために工夫をして過ごされていたこと、短い休みの中でも成長して学校に戻ってきたことを、子どもたちの表情や会話、絵日記等の成果物を通して感じました。

私にとってもこの夏、例年とは違った特別なことがありました。私事で恐縮ですが、我が家には高校3年生の野球部に所属している息子がいます。練習が思うようにできない中、夏の全国高校野球選手権大会及び地方大会の中止が決まり、集大成の夏をどのような形で迎えることができるのか不安になった時期がありました。しかし、県の独自大会を開催してもらえることが決まり、この夏休み期間に、仲間と共に全力で試合をすることができ、悔いなく部活動を終えることができました。保護者としては、無観客試合のため、息子たちが躍動している姿を生で見ることは叶いませんでしたが、ネット配信で送られてくる一球一球のスコアに一喜一憂しながら応援していました。たくさんの方々に支えられ、応援されて試合ができたことに感謝し、やはり、子どもたちが躍動できる場、輝ける場をつくっていくことが私たち大人の役割だと強く感じた夏でした。

学校が再開した初日、1年生の子どもたちは教室に入ってくるなり、「咲いている！」「大きくなっている！」と言いながら窓際に集まってきました。自分が育てている植木鉢の花が成長し、2年生から種をもらって一足先にまいたアサガオが、つるを伸ばしてきれいな花を咲かせていたのです。例年より2か月遅れてまいた花の種は、まだ小さいものもありますが、暑さに負けず、懸命に茎を伸ばし、葉を広げて成長していました。夏休みは学校に鉢を置いて職員で見守ってきましたが、また、子どもたちが心を寄せ、大切に育て始めました。暑すぎることを心配したのか、置き場所をそっと日かげに変えている子もいます。毎日花に言葉をかけている子もいます。そんな子どもたち自身の成長も、振り返ると感慨深いものがあります。全員がマスクをした中で行われた入学式、2か月にわたる学校休業、6月からの学校再開、7月からの通常授業…不安や心配もあったでしょうし、新しい生活様式の中で、これまで通りのことができないジレンマもありました。でも、子どもたちは毎日一生懸命活動し、着実に成長してきました。特に、休み時間や給食が始まってからは、誘い合って遊ぶ姿、声を掛け合う姿、助け合う姿などが随所で見られ、より一層の成長を感じました。やはり、人との関わりや経験の中で人は成長します。授業はもちろんですが、学校が果たすべき大切な役割について改めて考えさせられました。

厳しい暑さの中で、学校が始まっています。9月は4・5年生の宿泊体験学習と6年生の修学旅行が、また、10月には運動会が予定されています。子どもたちの健康・安全を第一に考えながら、子どもたち一人ひとりが大きく輝く姿、成長し続ける姿を実現できるよう、全職員一丸となって教育活動を行っていきたいと考えています。各ご家庭、地域の皆様のあたたかいご支援を、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。